

っていない。
飛行コースは横芝上空なのか

◇Aラインから二千メートル離れるので、直進飛行なら横芝上空となろう。

騒音コンターはどうなるのか

◇飛行計画が十分につまっていなので明示できない。しかし完成時には低騒音機化が相当進むし、滑走路も二千五百メートル



地元の苦しみを知れ 騒音対策委で佐瀬町長がハツパ

空港の騒音対策などを協議する第十二回新東京国際空港騒音対策委員会が六月十四日成田市で開かれました。

この委員会は、空港公団をはじめ、運輸省、県、関係市町村長、同議長、地元各種団体代表などで構成され、当日は五十六名の参加がありました。

席上近隣町村を代表して質問に立った佐瀬町長は、「これからの千葉県は、この空港を中心として発展していくことは必至である。その意味からも二期を含めた完全整備が望まれる。」

と短かく重い機種には使い難いので、Aラインのような影響は少ないと予測している。

TVアンテナ

フラッター防止用アンテナの取付け補修は日数を要しすぎる。地元業者へ委託できないのか。

◇将来的に検討していきたい。

その他にも細部にわたって質問

しかし表側の成田や富里に比べて、裏側の芝山・多古・横芝・松尾などには恩恵がなさすぎる。裏側対策にもっと力を入れるべきではないか。

また横芝町には、わかつただけでも十二回の落下物があった。今までは幸いにも大きな事故とはならなかったが、たかが氷ぐらいといった役人的な考えでいられては困る。人体へ直撃すれば死に至るといふ大きな問題意識に欠けてはいないか。

もっと地元の苦しみを知るべきだ。保険制度ができたといっても問題の解決にはつながらない。

や提言をしましたが、公団等も事情があつてか回答を渋る部分もあり、十分な内容のものとはなりません。

しかし予定の時間を大幅に延長しての熱のこもった追及に、一層綿密な対策を約束させたことは大きな成果であつたと思われま

徹底的な原因の究明と完璧な対策により絶滅を期してほしい」と厳しい口調で国の姿勢を正しました。

これに対して空港公団の松本副総裁は、

「裏側対策はできうる限り考慮していく。また落下物問題については、精一杯努力してきたつもりだが、誠に申しわけない。

保険制度はあくまで最悪の事態の措置であつて、これで問題が解決したとは考えていない。一日も早く平穏な状態に戻れるよう今後も最善の努力を尽す」と述べました。

現地の切実な叫びを

中台地区で抗議文手渡す

相次ぐ落下物に抗議して、中台地区住民の要請にもとづく「航空機落下物対策説明会」が六月二十一日に中台共同利用施設で開かれました。

運輸省や空港公団から落下原因やその対策などについての説明があつたと、地区民から苦しみを訴える言葉が次々と浴びせられ当局の強い対応を迫りました。そして最後に地区を代表し鈴木区長から次のような抗議文が手渡されました。

「.....町も今まで空港との共存共栄を期待し協力して来たと思ふ。当地区もこれに同調し今日に至つたが、初めて騒音の異常な

高さや夜間集中的な離発着に驚かされた。この騒音の激しさに加えて予想だにできなかった氷塊や機体の部品落下というダブルパンチに地区民は只々茫然自失、不安と恐怖の日々を過している。.....先頃起きた地震や津波には警報が出されるが、航空機事故については警報は出ない。したがって地区民はいつ頭上に落下するやも知れぬ物体の恐怖におののきながら命がけて日々の生活を送っている現状である。.....

こうした地区民の切実な叫びを真剣に受け止め、具体的な対応策を早急に図られ、二度と落下物等なきよう機体の整備に万全を期されるよう厳重に抗議する」



抗議文を手渡す鈴木区長

横芝町がダントツ

一発生件数

	部品	氷塊	計
横芝町	3	9	12
松尾町	1	3	4
芝山町	1	1	2
河内村	0	2	2
計	5	15	20

通報は迅速に

落下物を発見したときは、直ちに企画空港対策課へご連絡ください。

特に落下した瞬間を目撃された時は、航空機の特徴(飛び去っていった航空機)、時間などを確認しておいてください。